

# 長谷川朝子のアイデアノート



## 習い事を始める

花便りが各地から届くこの季節、習い事を始めようと思っ  
ていらっしやる方も多いのではあ  
りませんか。小さいお子さん  
をお持ちのお母さま方から「子  
どもにピアノやバイオリンをさせ  
たいと思っていますが、幾つぐ  
らいから通わせることができま  
すか？」というお問い合わせを  
数多くいただきます。今月はそ  
んなお母さま方からの質問に答  
えていきたいと思えます。早速  
参りましょう！

### 個人レッスンを始めるのは何歳から？

自分の意志でコントロールを



関わる活動をし  
ます。子どもの集  
力など身につ  
きたら楽器演奏  
の習い事にシフ  
トします。それ  
準備をします。  
ゲームの感覚  
で子供の自発性  
、創造性をタイ  
ムリにキャッチ  
しながらこれら  
(写真A)

- 10分ぐらい集中していられるか
- 身近にいる人の言うことを聞くことができるか
- 楽器を弾くことに興味を示しているか

### 習うまでの期間は 何もしなくていいの？

いいえ、そうではありません。楽器演奏だけではなく子どもの体、知性や神経の発達に合わせて音楽体験を増やし、身の回りのものや楽器を遊び道具として



↑左から、集中力を高めるための棒落としあそび、指先を鍛えるビーズ玉、美しい音の出るシルバベル、音符を覚えるカードあそび

### 音楽を習うと どんなことに役立つの？

の教具を使って楽しく学んでいきます。シルバベル以外はお家でも簡単に作れる物なのでぜひ作って遊んでみてください。

幼少から始めると絶対音感が育ちレッスンをすることで知能の向上につながります。週に一度のレッスンに向けて自宅で練習をすることで、目標に向かって努力する姿勢が身につきます。また先生の家に通うことで玄関での靴のそろえ方、ごあいさつの仕方など小さいうちからマナーを学びます。

### レッスンがスタートしたら

お子さんが小さいうちは一緒に

### 長谷川朝子さん

福島市在住。声楽家・ハーブ奏者。長谷川音楽事務所、長谷川音楽スクール代表。大学講師やラジオのパーソナリティー、福島民友新聞連載「うたのふるさとを訪ねて」を執筆。また、全国の学校を回る演奏活動、番組審議委員、コンクール審査員を務めるなど多方面で活躍中。2013年に第23回みんゆう県民大賞芸術文化賞を受賞。



HPアドレス <http://hasegawamusic.com/>



↑一緒にキャッチボールをする活動の中で子供にリズム感、集中力や共同作業することを学ばせることができます

にレッスンについていき、家に帰ってからお母さんも習ったことをお子さんとやってみましょう。練習が楽しくなりますよ。興味を持ちますよ。お母さんが優位に立っているのは初めのうちだけ、そのうちお子さんになくなっていきます。お父さんもたまには、お子さんのレッスンをのぞいてみてくださいね。何にでもそうですが大切なのは「継続は力なり」です。